

環境会計の定義

環境保全活動の定量的な評価を実施するために環境会計を導入しました。環境保全活動を経済的な指標で捉えることが環境保全の継続につながり、実質的に環境負荷の低減につながるものと考えています。当社の環境会計の考え方は、先に環境庁が発表した「環境会計ガイドライン(2000年度版)」に基づいています。また、当社の生産額の90%以上を占める海外工場の環境保全費用も同様の考え方をとりました。この会計システムはまだまだ初期の段階で、不確定な要素がありますが、改善すべきところは改善し、環境経営のための確度の高い費用情報として提供していく予定です。

対象範囲

対象期間: 2002年4月1日~2003年3月31日

集計範囲

集計範囲は以下の通りです。

▶ 日本

- ミネベア株式会社
- 軽井沢製作所
(軽井沢 / 松井田 / 佐久工場)
- 藤沢製作所
- 大森製作所
- 浜松製作所 R & Dセンター
(ミネベアエレクトロニクス株式会社を含む)
- ミネベア音響株式会社 (2003年6月より浜松製作所内に移転)
- エヌ・エム・ビー電子精工株式会社

▶ アジア

- タイ ミネベアグループの全工場
- 中国 ミネベアグループの全工場
- シンガポール ミネベアグループの全工場

環境保全コスト(対象範囲合計)

(単位: 千円)

分類		環境保全コスト 主な取組内容	対象範囲合計	
			投資額合計	費用額合計
1	生産・サービス活動により事業エリア内に生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業内エリアコスト)	内訳、の通り	1,213,186	2,613,017
	内訳			
	公害防止コスト	水質汚濁、大気汚染防止など公害防止のための設備の設置、設備償却及び運転・維持管理費用など	800,845	881,151
	地球環境保全コスト	オゾン層破壊物質を使用しない洗浄装置の設置、減価償却及び運転・維持管理費用など	345,739	1,433,246
	資源循環コスト	廃棄物処理及びリサイクルのための設備及び費用など	66,602	298,620
2	生産・サービス活動に伴って上流または下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト(上下流コスト)	グリーン購入に伴う分析装置の設置及び材料分析費用。納入者との契約に係る印刷・収入印紙代など	50,058	41,651
3	管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)	環境マネジメント組織の人的費及び環境マネジメントシステムの維持管理費用など	0	235,349
4	研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	水洗浄装置の研究開発費用など	0	52,632
5	社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)	緑地、景観保持のための整備費用など	0	60,519
6	環境損傷に対応するコスト(環境損傷コスト)	土壌汚染を修復するための土壌入れ替え費用及び浄化装置の運転・維持管理・減価償却費など	0	50,529
	その他のコスト	化学物質管理のためのシステム構築費用	0	46,758
	合計		1,263,244	3,100,455

換算レート: 1パーツ=2.7円、1人民元=14.2円、1シンガポールドル=68円